

第29回北星会館 ふれあいまつりのご案内

開催日 10月17日(土) 雨天決行

☆開 会 12:50～

☆講演会 13:00～14:00

演 題 「人 権 と 生 活」

講 師 安 藤 宏 幸 さん (西条市人権共生課人権教育指導員)

☆作品展示 11:00～15:30

教室生 の作品、小中学校の人権作品、Visee 作品

☆お茶席 14:00～15:00

☆子どもゲームコーナー 14:00～15:00 ヨーヨーつりなど

☆教室体験コーナー 14:00～15:00

レザーで **かわいいひつじ** のストップをつくろう

紙テープで **カッパケーキ** をつくろう～デコレーションを楽しもう～ (希望者先着 各 25 名)

☆芸能発表 14:30～15:30 カラオケなど

☆Visee コーナー 14:00～15:00

石鎚黒茶、お菓子、小物類の販売があります

※ お茶席と子どもゲームは券(無料、当日券あり)が必要です。景品等はなくなり次第終了となります。

※ 駐車場は会館裏の北星公園内をご利用ください。駐車台数が限られていますので、
できるだけ乗り合わせてご来館いただくと助かります。

西条市北星会館

住 所 西条市壬生川682番地1

電話・FAX 0898-64-0321

Eメール hokuseikaikan@saijo-city.jp

開館時間 月～金曜 9:00～17:00

☆土・日・祝 及び 年末年始は休館



北星会館だより



2026年(令和8年)10月号 (No.164号)

カブトガニを守る ～カブトガニは自然環境のバロメーター～

7月31日(金) 西条市東予郷土館の篠原栄次館長を迎え、第3回優・友・楽習会を開催しました。内容は「カブトガニを守る」です。篠原館長は、祖父、父と親子3代にわたってカブトガニを守るために研究と実践を行ってこられ、四国カブトガニを守る会の会長もされています。カブトガニの生態、血液のこと、環境、河原津海岸を中心に取り組まれている保護活動についてのお話を聞きました。

カブトガニは海岸線の埋め立て前には多く生息しており、高齢者の方に話を聞くと一様に昔は普通にたくさんいたのに、と答えが返ってきました。よく誤解されていますが、カブトガニは天然記念物ではなく、カブトガニの繁殖地としての場所が天然記念物として指定されています。現在は西条市や岡山県笠岡市など16の地域で生息が確認できます。絶滅の可能性があるレッドリストに認定されています。

カブトガニは“カニ”とついていますがカニの仲間ではなく、クモやサソリの仲間に近いそうです。カブトガニの血液は成分が銅なので青い色をしています。その青い血液は医薬品の検査薬として利用されており、成分を元にした癌やエイズの治療薬の研究も進められ、人間の命を助けています。まだカブトガニが多くいるアメリカなどで採血をしています。採血できなくなると医療に大きな影響が出るそうです。採血後のカブトガニは放流されています。

カブトガニの産卵や成長、オスとメスの体のつくりの違いについても、標本等を手に取って見ることができ詳しく教えていただきました。産卵は6～8月に行われ寿命は約25年くらいです。脱皮をして大きくなっていきますが、消化管などの内臓も脱皮をするそうで驚かされました。(次へつづく)



蟹

カブトガニの漢字です



生きている化石！

最後に、市内にある多くのカブトガニにまつわるモニュメント紹介もあり、東予東中学校のエンブレムにもカブトガニが描かれていました。

カブトガニが棲める環境は、私たち人間にもよい環境であり、自然環境のバロメーターとなる生物です。西条市では行政、四国カブトガニを守る会、市民、学校等が協力して、幼生放流や海岸清掃などの活動に取り組んでいます。大きく変わってゆく自然環境について私たちは考え、行動につなげていかなければならないと考えさせられました。

カブトガニってすごい！
からだを曲げた状態で
血液を採取します。
貴重な青い血！（°Д°）
カブトガニさんありがとう。



11月・12月の優・友・楽習会のご案内

第6回 日時 11月2日（月）13:30～

演題 「健康食品＋お薬手帳の有効活用」

講師 久岡彩香さん（済生会西条病院薬剤師）

第7回 日時 12月7日（月）13:30～

演題 「人権問題について考えましょう」

講師 月岡俊さん（西条小学校教頭）

壬生川地区人権・同和教育懇談会に参加しました

8月27日（木）壬生川小学校の教室で行われた、壬生川地区人権・同和教育懇談会に参加しました。参加者は6年竹組の藤田先生から『6年社会科「教育を受ける権利」について（内容：教科書無償）』の授業を受けました。



1961年に高知県長浜地区から始まった教科書無償運動を起点として、1963年の池田内閣にて実現した教科書の無償化です。現在は当たり前になっている教科書無償ですが、それまでは教科書は有償でした。日本国憲法26条に規定されている、義務教育は無償とされているものの、教科書は実費で購入しなければならず結構な金額が必要でした。

参加者から、教科書無償化から年月も経ち、もっとその無償化経緯の周知を図ってもよいのではないかという意見が出ました。先人が積み重ねてきた成果を再確認できました。

第2回協力委員会開催しました

9月2日（水）協力委員会において、第29回北星会館ふれあいまつりについて協議し、今年度も協力委員の皆様にご協力をいただきながら開催することになりました。内容等は裏面に載せておりますので、ぜひ多くの皆様のご来館をお待ちしております。



♪ 音楽と言葉の力で 心豊かなひとときを ♪

今年度も音楽療法士の武田詩乃さんと朗読を眞鍋明紀子さんをお願いして、第4回優・友・楽習会を開催しました。

始めに美空ひばりさんの「真赤な太陽」のライブ音源で手を上げたり足踏みをしたりして体をほぐしました。

続いて、絵本「みいちゃんの夏」の朗読です。その中で、「かたつむり」、「金魚の昼寝」などの童謡を歌いました。しばらくは聞いていなかった曲ですが、不思議とすぐに思い出して口ずさめます。夏の思い出と題して、藤山一郎さんの「長崎の鐘」、並木道子さんの「りんごの唄」も聞きました。

中盤ではヴァイオリニスト葉加瀬太郎さんの「情熱大陸」を、準備していただいた多種の楽器を手に、一人一人が音を出して演奏に参加しました。また夏川りみさんの「涙そうそう」は、みなさんしんみり聞き入りました。

終盤に絵本「花さき山」と「14ひきのおつきみ」の朗読がありました。「花さき山」は、やさしいことをすると美しい花がひとつ咲くという感動の物語、「14ひきのおつきみ」は、中秋の名月の情景を思い起こされました。



最後に水前寺清子さんの「三百六十五歩のマーチ」を歌って終わりました。

どの曲もその時代背景を思い出し懐かしく、音楽と言葉の力を感じた時間となりました。

人権相談日

10月19日（月） 11月16日（月）
13:30～15:00

当館職員が対応します。
お気軽にご来館ください。

職業・生活等相談日

10月21日（水） 11月18日（水）
13:30～15:30

広域隣保活動相談員が対応します。
お気軽にご来館ください。